

修了評価の方法

評価基準作成者： 川本 哲大

| | |
|------------|---|
| 評価方法及び合格基準 | <p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">・「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。 <p>2 出題形式</p> <ul style="list-style-type: none">・四肢択一形式とする。 <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none">・四肢択一問題 15 問 全問正解：15 点満点 <p>4 合否判定基準</p> <ul style="list-style-type: none">・9 点以上（6 割以上） <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・不合格者には、補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は6割以上とし、補習料・再評価料は無料とする。再評価は、最大3回のみとし、最終試験の結果、不合格となった者は、未修了扱いとなるため注意すること。 |
|------------|---|